

東京都台東区立社会教育センター、社会教育館（4館）

指定管理者の名称	JN 共同事業体
所管部課	教育委員会 生涯学習課

評価委員会による評価

1. 評価の観点

- ※ 「評価の観点」(1)～(6)における委員会の評価については、委員会の合議により決定した。
- ※ 「委員のコメント」及び「評価委員会から区への意見」については、評価の過程における多様な意見を報告書に反映するため、各委員から出された様々な意見を記載している。

(1) 管理の適正性

委員会の評価	17点
--------	-----

【参考】区の評価				
社会教育センター	千束社会教育館	小島社会教育館	根岸社会教育館	今戸社会教育館
19点	19点	19点	19点	19点

●委員のコメント

良い点
<ul style="list-style-type: none"> ○事業計画書に則して適正な施設管理が行われている。 ○どの項目も書面、ヒアリングからは、大きな瑕疵は見られない。 ○設備の保守点検や清掃等の維持管理業務について明確に定めている。 ○危機管理マニュアルは緊急時にも使いやすいよう、フローチャートを用いてケース別に分かりやすくまとめている。 ○管理体制は社会教育センターを中心に適切に、また、話を聞く限りでは無駄なく実施していると思われる。危機管理マニュアル、個人情報等も整備され、各館にも周知が徹底している。訓練も適切に実施している。

改善すべき点
<ul style="list-style-type: none"> ○危機管理マニュアルは整備されており、指定管理者へのヒアリングでも避難訓練等を適切に行っていることが確認できたが、老朽化した各館で危機対応が万全であるかどうか、絶えず検証することが必要であると考えられる。

- 自主事業等の展開に関しては、区との連携が不可欠であり、管理面だけでなく、施設運営全般の改善を目指して、より広範な連携・協議を求めている。
- 所管課から報告書数値の確認体制の構築が必要との指摘があった。

その他

- 近年問題となっている危機管理として、チャイルドプロテクション、クレーム対応についても、社内マニュアルがあれば、各館にも周知するようにしてほしい。

(2) 事業の運営

委員会の評価	15点
---------------	------------

【参考】区の評価				
社会教育センター	千束社会教育館	小島社会教育館	根岸社会教育館	今戸社会教育館
20点	20点	19点	19点	19点

●委員のコメント

良い点

- 一部定員に満たない事業があるものの、区民ニーズを的確に把握しながら自主事業の実施に努めている。
- 施設管理に注力せざるを得ない現状の中で、必要な事業を動かしている努力には敬意を表したい。
- 利用者に対する学習機会の情報は、廊下の掲示やデジタルサイネージ、広報誌を通じて適切になされている。
- デジタルサイネージを活用した利用案内について、区民の意見を取り入れながらその運用改善に努めている。
- 利用者懇談会やアンケートを通じ、利用者とのコミュニケーションをとっている。
- 少人数での利用が可能となり、利用者の利便性が向上している。
- 地域の人材の活用、連携、自主事業の運営など大変工夫をしている。前期の反省を活かしてよりよい活動を心掛けていると思われる。

○今戸社会教育館では「東京都人権センター」の利用者サークルへの PR により新たな利用者を増やした。

改善すべき点

- 施設管理に重点を置かざるを得ない状況なので、その分、自主事業が手薄になっている。子どもを含めた若年層にもっと施設を知って貰い、利用して貰う努力が求められる。
- 高齢化に伴い今後利用人数が低下する恐れがあり新規利用者を増やす必要がある。若年層の活用を促進するには、予約や支払いの利便性を高めるなどフルタイムで働く人への配慮が必要である。
- 救急法は2年に1回更新をする。清島温水プールだけでなく、高齢者の多い各館において、救急法やファーストエイドの徹底が必要である。

その他

- 実績報告書で根岸社会教育館について対前年度比で利用者数の減少の要因として指摘されているように、利用団体の構成員の高齢化に伴って、今後は利用者数が低下していく可能性があり、所管課と指定管理者が連携して対応を行っていく必要がある。
- 利用者の層が厚くなれば、施設そのものに対する声も多様なものとなり、区に対して伝えるべき施設の課題の内容も豊富になるのではないかと考える。また、施設に集う多様な年齢層の区民等の交流の機会が増え、地域共同体の再生につながると考える。
- 魅力的な講座は、施設の認知度向上につながる。難しい面もあるが講座情報や講座の様子を SNS で発信するなども一案と考える。
- 事業については、アンケートで高評価を得ているように、スタッフも適切に対応しており、できる範囲での様々な工夫がされている。

(3) 施設の維持管理

委員会の評価	20点
--------	-----

【参考】区の評価				
社会教育センター	千束社会教育館	小島社会教育館	根岸社会教育館	今戸社会教育館
20点	20点	20点	20点	20点

●委員のコメント

良い点
<p>○各社会教育館は施設の老朽化が目立っているが、バリアフリーへの配慮がなされ、清掃も行き届いているなど、利用者の視点に立った施設管理が行われている。</p> <p>○老朽化した施設の管理運営は、指定管理者の努力の限界がある中、利用者の声を受けて様々な工夫をされており、利用者の希望を叶える努力をしている点は十二分に評価されるべきだと思う。</p> <p>○限られた予算の中、ISO 基準を準用した「データ活用と計画策定」による予防保全を行い、安全に使用するように努めている。設備の老朽化は進んでいるが、清掃を行き届かせ清潔に保っている。根岸社会教育館の和室が45%の高稼働率を保っているのは設備・備品の適切な管理による所も大きいと思われる。</p>

改善すべき点
<p>○指定管理者としても、施設の改善について、利用者からの声をもっともっと区に伝え続けてほしい。公募で事業者の手が上がらないことが無いよう、社会教育施設の改善を考えるべきときが来ていると思う。</p> <p>○高齢等で膝が曲げにくい人にとって、和室は使いにくい。座敷椅子を2～3脚導入し、利用者の評判が良ければ他の和室にも導入する等検討してはどうか。</p> <p>○備品については、単年度ではなく予算管理をする中で、区と相談をしながら適宜新しいものに変えていくなどしてほしい。</p>

その他
<p>○長期的な視点から施設の老朽化への対応を検討する等、所管課と指定管理者が連携することが重要である。</p>

(4) サービス向上の取組み

委員会の評価	18点
--------	-----

【参考】区の評価				
社会教育センター	千束社会教育館	小島社会教育館	根岸社会教育館	今戸社会教育館
18点	16点	18点	16点	18点

●委員のコメント

良い点
<p>○利用者アンケートではスタッフの対応に対する評価が高く、サービス向上に向けた取り組みを着実にやっている。</p> <p>○利用者の声を常に意識し、サービス向上に努めている点は高く評価したい。</p> <p>○定期的な利用者懇談会により、要望がフィードバックされ良いサイクルが生まれている。インターホンやセンサーを活用する、利用者の来館を先読みするなど、設備の不足を運用の工夫で補っている。</p> <p>○アンケート調査をもとに、事業や掲示方法、広報など様々な工夫をされている。</p> <p>○スタッフが自主的に季節を感じさせる装飾を行っている。</p> <p>○利用者の活動継続についてアプローチを続けている。</p>

改善すべき点
<p>○利用者が増加するとともにスタッフの余裕がなくなり利用者満足度が低下する傾向がある。根岸社会教育館は、利用者が多いことに加え、駅が近く一般の人も訪れ、図書館の利用者も受付を通ることなどから、スタッフの負担が他の施設よりも大きいと推察される。</p> <p>○アンケートの回収数が少ないが、対象によってヒアリングを行うことや、インターネットを使うなど調査方法を検討してもよいのではないかな。</p>

その他

- アンケート調査は、利用者が主対象となっているため、回答者の多くは特定の利用団体に所属しており、意見はさほど大きな相違は見られないと思われる。今後は、臨時的な利用者の声を丁寧に聞くような調査もあると良いのではないか。
- スタッフのモチベーションアップがサービス向上のカギである。今の良いサービスを続けていくためにも、スタッフがやりがいをもって楽しく働く工夫があるとよい。
- 利用者の年齢はほぼ 60 代以上が占める中、事業の内容を対象者に合わせるか、利用者の年齢幅を広げるか根本的に考える必要があるのではないか。

(5) 収入支出

委員会の評価	16点
--------	-----

【参考】区の評価				
社会教育センター	千東社会教育館	小島社会教育館	根岸社会教育館	今戸社会教育館
16点	18点	16点	16点	17点

●委員のコメント

良い点

- LED 化を進め、光熱費の削減に努めるなど、効率的な事業運営に向けた取り組みを行っている。
- 限られた予算の中で工夫して実施していると思われる。赤字を出さぬ努力をされており、その点は評価できる。
- シニアライフセミナーからの「高齢者サロン」開設は、利用者の高齢化が進む中で稼働率の向上と収益の改善が期待できる。
- 施設利用収入が概ねクリアされており、各館の努力がうかがえる。

改善すべき点

- 社会教育 5 施設の人件費の執行率が 104%と当初予算を上回っており、財政運営の効率化に向けた取り組みが求められる。
- 5 施設全体の執行率は総合では収入支出ともほぼ 100%であるが、項目によっては予算と実績とのずれが大きいものもある。利用料収入が予算

を下回った館および支出が予算を上回った館では、原因の分析と対策が必要である。

- 光熱費、通信運搬費、印刷製本費などが軒並み予算を超えているが、この理由をきちんと把握して、来年度に活かしてほしい。

その他

- 人件費は削減しやすい項目だが、勤労意欲、人材確保の点で重要な要因である。指定管理者の活動が先細りにならないようにしてほしい。

(6) 優れた取組み

委員会の評価	7 点
--------	------------

【参考】区の評価				
社会教育センター	千束社会教育館	小島社会教育館	根岸社会教育館	今戸社会教育館
3 点	-	-	-	-

●委員のコメント

良い点

- 警察署と連携して振り込め詐欺防止講習会を開催するなど、利用者に寄り沿いながら地域課題の解決に向けた取り組みを行っている。
- 少人数利用のサービスを開始することによって、利用稼働率の改善に向けた成果を上げつつある。
- 平成 29 年度から導入したデジタル掲示板は、一定の成果を上げている。
- 「声優体験ワークショップ」には指定管理者の強みが活かされている。千束社会教育館の自主事業である「振り込め詐欺」防止講習会は、3 回実施し合計 60 名の参加があり、地域課題の解決にもつながる内容である。区内の社会教育団体の人材を講師として登用し良好な関係構築に努めている。今戸社会教育館では近隣の保育園との協力関係が築けている。
- 地域と連携した事業を積極的に展開されている。また参加者は少なかったが、母親向け就職セミナーなど社会とつながるための事業にもチャレンジしている。新しい取り組みは、周知が行き届くまで時間がかかるので、継続して実施してほしい。
- サークルフェスタも大変人気である。サークル間のコミュニケーションもとれるようなしかけも今後検討してほしい。

その他

○利用者・団体の活動の成果物が展示されているが、もう少し見やすい展示法を検討してほしい。受付前の展示ケースも少し薄暗い印象を受けた。

2. 総合評価

総合評価は、5ページに示した基準に従い、「評価の観点」の結果に応じて評価を付した。

委員会の評価	良好 (93 点 / 110 点)
--------	-------------------------------

【参考】区の評価				
社会教育センター	千束社会教育館	小島社会教育館	根岸社会教育館	今戸社会教育館
良好	良好	良好	適正	良好
96 点	93 点	92 点	90 点	93 点

●委員のコメント

- 施設が老朽化する中で、利用者の視点に立ったきめ細やかなサービスを提供することに真摯に取り組んでいる点が特に印象に残った。
- 老朽化した施設を適切に管理運営している指定管理者に敬意を表したい。
- 設備は老朽化しているものの、スタッフによる工夫が運営の随所に見られ、適切な管理がなされている。
- 事業内容については、設備、維持管理、事業運営など、できる範囲の中で各館工夫をしていると思われる。今後は、実施計画を実施するにとどまらず、この先の利用者の利便性や利用者が継続して活用したいと思わせるような事業、設備の管理を検討してほしい。基本理念にある「未来へつなぐひとづくり」をアピールして、台東区ならではの生涯学習施設となってほしい。

3. 評価委員会から区への意見

●委員のコメント

- 会議室等の利用稼働率を向上させ、施設の有効利用を図るには、登録団体の利用を優先しつつも、同じような会議室等を有する老人福祉館等、他分野の区施設と利用調整を行うシステムを構築することも検討すべきではないか。

- 施設自体の老朽化はなんとかならないか。子どもを含めた若年層の利用を増やしていくことはこれからの社会教育施設の大きな課題だと考えている。施設の老朽化は、この点で大きなマイナス・ポイントである。多くの区民が活動する社会教育施設は、必ず、この区の活性化に資すると考える。
- 設備を新しくすることで長期的に見て経費削減やスタッフの負荷軽減につながる場合は、設備更新もありうると考える。
- 以前から言われているが、施設、設備の老朽化は指定管理者だけで解決する問題ではない。今後の災害や利用者の高齢化を考えると施設自体の管理をどうするのか検討してもらいたい。部屋が暗いなどは、エコとして使用していない電気は消すなど当たり前のことであり、そもそも電球そのものをLEDにする、増やす、壁紙を変える、採光を考えるなどまだ改善の余地があると思われる。できる範囲のことをやることも大切だが、トイレを変える、空調を取り換えるなど早めに検討してほしい。

区による評価

令和元年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会事務局生涯学習課	
施設名称	16	東京都台東区立社会教育センター	指定管理者	JN共同事業体	
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H29. 4. 1 ~ R4. 3. 31	

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的]	区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。またラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成及び区民の生涯教育・文化教養の向上に助力する。
	[所在地]	台東区東上野6-16-8
(2)	[規模]	延床面積1,689㎡ 鉄筋コンクリート造 地上4階 地下1階 多目的ホール(130名) 集会室:会議室1室(40名)・和室1室(20名) 調理室(32名)
(3)	[委託事業]	生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施、オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の実施
	[自主事業]	声優体験ワークショップ等5講座及びサークルフェスタ実施
(4)	[利用者]	社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。
	[利用料金制]	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他()
(5)	[開館日・時間]	開館日:火~日曜:9:00~22:00 第2・4月曜:9:00~22:00 第1・3・5月曜:13:00~22:00 休館日:年末年始(12/29~1/3) 設備点検日
(6)	[人員体制]	11名 (内 訳) 統括責任者兼台東区社会教育センター責任者(1) 統括副責任者兼教育事業統括(1) 維持管理責任者(1) 受付・庶務(6) 教育担当(2) (前年増減) 1

2. 予算決算

		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算
収入	委託料(指定管理料)	85,326,000	85,326,000	82,979,000	82,979,000
	利用料金収入	2,441,200	2,306,320	2,477,000	2,607,865
	その他収入()	0	0	0	0
	計	87,767,200	87,632,320	85,456,000	85,586,865
支出	人件費	38,366,400	38,248,388	38,367,000	39,903,383
	光熱水費	6,610,000	6,417,974	6,610,000	7,105,580
	維持管理費(委託料・賃借料)	31,244,000	31,238,189	32,127,000	32,588,000
	修繕費	1,695,000	1,685,491	812,000	351,000
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(消耗品費・通信運搬費等)	9,096,800	8,669,401	7,334,000	5,707,076
	計	87,012,200	86,259,443	85,250,000	85,655,039
収支			1,372,877		-68,174

3. 活動指標

	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
年間開館日数	日	357	357	354	356
自主事業等講座	講座	18	13	16	18

4. 成果指標

	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
利用率	%	52.8	48.9	49.2	51.8
利用人数	人	31,898	30,267	31,153	31,487

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

指定管理の2年目であり、初年度は自主事業の募集が計画した時期よりも遅れ、応募人数も定員に満たないという課題もみられたが、区と協議の上、適切な時期に募集を行うなど、課題への対応を図り区民の生涯教育・文化教養の向上等施設目的に沿った事業を展開している。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った		
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。	
19 / 20 点	前年同様、事業計画書等の作成などの必要な手続きを適切に行うとともに、日頃から区との情報共有に努めたが、月次報告書及び年次報告書の提出において、数値の修正による差替が再度発生した。概ね適正な管理がなされているが、より細やかな対応が必要である。	
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。	
20 / 20 点	自主事業においては、内容・方法などを企画・提案し、区との協議を経て、区民の生涯教育・文化教養の向上等施設目的に沿った事業を展開している。また、施設の開館や利用許可についても、条例に基づき適切な運営を行っている。	
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。	
20 / 20 点	設備担当が施設の現状を把握し、不具合が生じた箇所については優先順位の高い箇所から修繕する等、計画的な保守管理を実施している。また、清掃等についても適切に実施している。	
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。	
18 / 20 点	アンケート結果や利用者懇談会の課題を踏まえ、利用促進策・設備補修計画を立て、利用者懇談会へフィードバックするなど、サービス向上に努めている。一方でアンケートの回答数を増やす等、利用者の意見を取り入れるための取組みが望まれる。	
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。	
16 / 20 点	利用料金収入がほぼ予算どおりのなか、人件費が増加したため、単館では指定管理者の収支がマイナスとなったが、概ね適切な予算執行がなされている。	
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果	
3 点	指定管理者の関連会社の協力のもと、「それいけ！アンパンマン」等に出演した人気声優を講師に招いて「声優体験ワークショップ」を開催し、多数の応募があり、参加者から大変好評だったことから、区民の施設の認知度の向上及び生涯教育の推進に寄与した。	
7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)		
良好 (96 / 110点)	【所見】 利用者アンケートから、施設の満足度が平均83.70点となっている。スタッフの接遇や、施設の維持管理等、概ね適正な施設運営が行われている。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 ・月次報告書などにおいて数値の修正による差替が発生した。 ・収支面では支出を上回っている。 ・利用者のニーズ把握に努める必要がある。

令和元年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会事務局生涯学習課
施設名称	17	東京都台東区立千束社会教育館	指定管理者	JN共同事業体
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H29. 4. 1 ~ R4. 3. 31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。またラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成及び区民の生涯教育・文化教養の向上に助力する。
(2)	[所在地] 台東区浅草4-24-13 区立千束小学校3階 [規模] 延床面積579㎡ 鉄筋コンクリート造 ホール(50名) 会議室1室(45名) 和室1室(25名)
(3)	[委託事業] 生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施、オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の実施 [自主事業] まるごとにつぼん出張講座「日本酒入門講座」等2講座及び千束フェスタ実施
(4)	[利用者] 社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他()
(5)	[開館日・時間] 開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始(12/29～1/3) 設備点検日
(6)	[人員体制] 5名 (内 訳) 館長(1) 教育担当(1) 受付・庶務(3) (前年増減) —

2. 予算決算		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算
収入	委託料(指定管理料)	14,037,000	14,037,000	14,366,000	14,366,000
	利用料金収入	1,369,200	1,627,395	1,389,000	1,612,650
	その他収入()	0	0	0	0
	計	15,406,200	15,664,395	15,755,000	15,978,650
支出	人件費	12,020,400	11,983,153	12,020,000	12,501,334
	光熱水費	491,000	402,829	491,000	412,661
	維持管理費(委託料・賃借料)	2,075,000	2,076,320	2,022,000	2,038,200
	修繕費	55,000	54,000	108,000	91,800
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(消耗品費・通信運搬費等)	764,800	1,148,093	1,114,000	723,363
計	15,406,200	15,664,395	15,755,000	15,767,358	
収支			0		211,292

3. 活動指標	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
年間開館日数	日	341	343	341	340
自主事業等講座	講座	14	12	12	14

4. 成果指標	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
利用率	%	53	51.3	52.4	52.2
利用人数	人	19,800	20,292	19,277	19,219

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
指定管理の2年目であり、初年度は自主事業の募集が計画した時期よりも遅れ、応募人数も定員に満たないという課題もみられたが、区と協議の上、適切な時期に募集を行うなど、課題への対応を図り区民の生涯教育・文化教養の向上等施設目的に沿った事業を展開している。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	前年同様、事業計画書等の作成などの必要な手続きを適切に行うとともに、日頃から区との情報共有に努めたが、月次報告書及び年次報告書の提出において、数値の修正による差替が再度発生した。概ね適正な管理がなされているが、より細やかな対応が必要である。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	自主事業である千束フェスタでは、実行委員会を指定管理者が支援する形で運営し、区民等の主体性を引出している。また、施設の開館や利用許可についても、条例に基づき適切な運営を行っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備担当が施設の現状を把握し、不具合が生じた箇所については優先順位の高い箇所から修繕する等、計画的な保守管理を実施している。また、清掃等についても適切に実施している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	アンケート結果や利用者懇談会の課題を踏まえ、利用促進策・設備補修計画を立て、利用者懇談会へフィードバックするなど、サービス向上に努めている。一方でアンケートの回答数を増やす等、利用者の意見を取り入れるための取組みが望まれる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用料金収入は予算より15%ほど上回っている。支出はほぼ予算通りであり、適切な予算執行がなされている。
(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (93 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>利用者アンケートでは施設の満足度が平均82.20点となっている。スタッフの接遇や施設の維持管理等、適正な施設運営が行われている。利用率は前年度より微減となっているため、効果的な利用促進策の策定が必要である。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月次報告書などにおいて数値の修正による差替が発生した。 ・利用者満足度の向上に向けて、利用者アンケートの活用が必要である。

令和元年度 指定管理者施設管理評価シート			部課名	教育委員会事務局生涯学習課	
施設名称	18	東京都台東区立小島社会教育館	指定管理者	JN共同事業体	
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H29.4.1 ~ R4.3.31	

1. 施設および事業の概要	
(1)	<p>[設置目的] 区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。またラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成及び区民の生涯教育・文化教養の向上に助力する。</p> <p>[所在地] 台東区小島1-5-2 台東小島ビル2階都営住宅と併設</p> <p>(2) [規模] 延床面積704㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ホール(100名) 第1会議室(30名) 第2会議室(20名) 第3会議室(20名) 第1和室(15名) 第2和室(30名)</p> <p>[委託事業] 生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施、オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の実施</p> <p>(3) [自主事業] 「浅草南部がらり旅～江戸の名残を訪ねて～」開催及び小島フェスタ実施</p> <p>(4) [利用者] 社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。</p> <p>[利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他()</p> <p>(5) [開館日・時間] 開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始(12/29～1/3) 設備点検日</p> <p>(6) [人員体制] 6名 (内 訳) 館長(1) 教育担当(1) 受付・庶務(4) (前年増減) 1</p>

2. 予算決算		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算
収入	委託料(指定管理料)	13,336,000	13,336,000	13,455,000	13,455,000
	利用料金収入	1,947,200	1,672,390	1,977,000	1,656,870
	その他収入()	0	0	0	0
	計	15,283,200	15,008,390	15,432,000	15,111,870
支出	人件費	12,020,400	11,983,153	12,020,000	12,501,334
	光熱水費	835,000	808,124	835,000	904,204
	維持管理費(委託料・賃借料)	1,663,000	1,663,250	1,555,000	1,496,421
	修繕費	0	0	108,000	166,579
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(消耗品費・通信運搬費等)	764,800	553,863	914,000	723,363
	計	15,283,200	15,008,390	15,432,000	15,791,901
収支			0		-680,031

3. 活動指標	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
年間開館日数	日	341	343	341	340
自主事業等講座	講座	13	12	13	13

4. 成果指標	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
利用率	%	39	34.3	37.8	38.3
利用人数	人	27,700	25,062	26,037	26,887

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

指定管理の2年目であり、初年度は自主事業の募集が計画した時期よりも遅れ、応募人数も定員に満たないという課題もみられたが、区と協議の上、適切な時期に募集を行うなど、課題への対応を図り区民の生涯教育・文化教養の向上等施設目的に沿った事業を展開している。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	前年同様、事業計画書等の作成などの必要な手続きを適切に行うとともに、日頃から区との情報共有に努めたが、月次報告書及び年次報告書の提出において、数値の修正による差替が再度発生した。概ね適正な管理がなされているが、より細やかな対応が必要である。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	概ね適切な施設運営を行っているが、更なる利用者満足度の向上を図るための取組を期待する。また、自主事業の小島フェスタでは、区民等の主体性を引出すような形で実行委員会を支援しており、施設の設置目的に合った事業運営を行っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備担当が施設の現状を把握し、不具合が生じた箇所については優先順位の高い箇所から修繕する等、計画的な保守管理を実施している。また、清掃等についても適切に実施している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用者の要望に適宜適切に対応を行っているが、一方でアンケートの回答数を増やす等、利用者の意見をさらに取り入れるための取組みが望まれる。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	利用料金収入が予算より下回っており、効果的な利用促進策を実施する必要がある。また、支出に関しても、予算より上回っており、コスト削減が必要であるが、概ね適切な予算執行がなされている。
(6) 優れた取組み ＜加点項目＞ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (92 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>利用者アンケートでは、施設の満足度が平均80.84点となっている。スタッフの接遇や、施設の維持管理等、概ね適正な施設運営が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月次報告書などにおいて数値の修正による差替が発生した。 ・収支面では利用の促進とコスト削減が必要である。

令和元年度 指定管理者施設管理評価シート			部 課 名	教育委員会事務局生涯学習課
施設名称	19	東京都台東区立根岸社会教育館	指定管理者	JN共同事業体
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募		指定期間	H29.4.1 ~ R4.3.31

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。またラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成及び区民の生涯教育・文化教養の向上に助力する。
(2)	[所在地] 台東区根岸5-18-13 都営住宅14階建1階根岸図書館と併設 [規模] 延床面積567㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ホール(60名) 第1会議室(40名) 第2会議室(30名) 和室(40名)
(3)	[委託事業] 生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施、オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の実施 [自主事業] 「谷中寛永寺と根岸路地裏散歩」の開催及び根岸フェスタ実施
(4)	[利用者] 社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他()
(5)	[開館日・時間] 開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始(12/29～1/3) 設備点検日
(6)	[人員体制] 6名 (内 訳) 館長(1) 教育担当(1) 受付・庶務(4) (前年増減) 1

2. 予算決算		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算
収入	委託料(指定管理料)	13,667,000	13,667,000	13,635,000	13,635,000
	利用料金収入	2,044,200	2,410,445	2,075,000	2,531,435
	その他収入()	0	0	0	0
	計	15,711,200	16,077,445	15,710,000	16,166,435
支出	人件費	12,020,400	11,983,153	12,020,000	12,501,334
	光熱水費	1,431,000	1,400,808	1,431,000	1,693,484
	維持管理費(委託料・賃借料)	1,470,000	1,470,384	1,387,000	1,156,420
	修繕費	25,000	24,840	108,000	338,580
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(消耗品費・通信運搬費等)	764,800	1,198,260	764,000	723,363
	計	15,711,200	16,077,445	15,710,000	16,413,181
収支			0		-246,746

3. 活動指標	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
年間開館日数	日	341	343	341	340
自主事業等講座	講座	13	15	13	13

4. 成果指標	単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
利用率	%	52	47.1	52	51.4
利用人数	人	29,900	30,244	32,033	28,951

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況
指定管理の2年目であり、初年度は自主事業の募集が計画した時期よりも遅れ、応募人数も定員に満たないという課題もみられたが、区と協議の上、適切な時期に募集を行うなど、課題への対応を図り区民の生涯教育・文化教養の向上等施設目的に沿った事業を展開している。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	前年同様、事業計画書等の作成などの必要な手続きを適切に行うとともに、日頃から区との情報共有に努めたが、月次報告書及び年次報告書の提出において、数値の修正による差替が再度発生した。概ね適正な管理がなされているが、より細やかな対応が必要である。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	自主事業である根岸フェスタでは、実行委員会を指定管理者が支援する形で運営し、区民等の主体性を引出している。前年度と比較して、利用率及び利用人数ともに減少したが、条例に基づき適切な事業運営を行っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備担当が施設の現状を把握し、不具合が生じた箇所については優先順位の高い箇所から修繕する等、計画的な保守管理を実施している。また、清掃等についても適切に実施している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	アンケート結果や利用者懇談会の課題を踏まえ、利用促進策・設備補修計画を立て、利用者懇談会へフィードバックするなど、サービス向上に努めているが、利用者アンケートでは施設の満足度が平均76.22点となっており、更なる満足度向上を図る必要がある。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
16 / 20 点	利用料金収入が予算より上回っている。一方、支出が予算より上回っているため、さらなるコスト削減が必要ではあるが、概ね適切な予算執行がなされている。
(6) 優れた取組み ＜加点項目＞ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)		
適正 (90 / 110点)	【所見】 利用者アンケートでは施設の満足度が平均76.22点となっている。スタッフの接遇や施設の維持管理等、適正な施設運営が行われている。前年度と比べ利用人数が減少しており原因分析と利用の促進が必要である。	【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】 ・月次報告書などにおいて数値の修正による差替が発生した。 ・収支面で支出が予算を上回っている。 ・利用者満足度の向上に向けて、利用者アンケートの活用が必要である。

令和元年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	教育委員会事務局生涯学習課	
施設名称	20 東京都台東区立今戸社会教育館	指定管理者	JN共同事業体	
選定方法	<input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H29.4.1 ~ R4.3.31	

1. 施設および事業の概要	
(1)	[設置目的] 区内の社会教育団体等に自主学習の場を提供し、その学習活動・組織活動を促進する。またラーニングスクエア等を開設し、自主グループの結成及び区民の生涯教育・文化教養の向上に助力する。
(2)	[所在地] 台東区今戸2-26-12 今戸住宅11階建2階 待乳保育園と併設 [規模] 延床面積527㎡ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ホール(50名) 第1会議室(30名) 第2会議室(40名) 和室(30名)
(3)	[委託事業] 生涯学習・社会教育活動に関する資料収集・情報提供、施設利用者への指導、助言及び相談、生涯学習ラーニングスクエアの実施、オリンピック・パラリンピック生涯学習講座の実施 [自主事業] 「今戸焼まる分かリッツアー」の開催及び今戸フェスタ実施
(4)	[利用者] 社会教育団体として台東区教育委員会に登録されている団体。教育委員会や社会教育館が行う行事に参加する区民。その他一般団体。 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他()
(5)	[開館日・時間] 開館日：火～日曜：9:00～22:00 月曜：13:00～22:00 休館日：国民の祝日 年末年始(12/29～1/3) 設備点検日
(6)	[人員体制] 6名 (内 訳) 館長(1) 教育担当(1) 受付・庶務(4) (前年増減) 1

2. 予算決算		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算
収入	委託料(指定管理料)	15,434,000	15,434,000	15,565,000	15,565,000
	利用料金収入	1,174,200	1,254,655	1,192,000	1,437,810
	その他収入()	0	0	0	0
	計	16,608,200	16,688,655	16,757,000	17,002,810
支出	人件費	12,020,400	11,983,153	12,020,000	12,501,334
	光熱水費	1,523,000	1,329,544	1,523,000	1,469,489
	維持管理費(委託料・賃借料)	2,270,000	2,271,834	2,192,000	2,130,008
	修繕費	30,000	28,512	108,000	169,992
	事業費	0	0	0	0
	その他支出(消耗品費・通信運搬費等)	764,800	1,075,612	914,000	723,363
	計	16,608,200	16,688,655	16,757,000	16,994,186
収支			0		8,624

3. 活動指標		単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
年間開館日数	日		341	343	341	340
自主事業等講座	講座		13	13	12	13

4. 成果指標		単位	(目標値)R2年度	H28年度	H29年度	H30年度
利用率	%		41	34.2	37	40.3
利用人数	人		20,400	20,621	18,710	19,767

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

指定管理の2年目であり、初年度は自主事業の募集が計画した時期よりも遅れ、応募人数も定員に満たないという課題もみられたが、区と協議の上、適切な時期に募集を行うなど、課題への対応を図り区民の生涯教育・文化教養の向上等施設目的に沿った事業を展開している。

6. 評価の観点 (20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
19 / 20 点	前年同様、事業計画書等の作成などの必要な手続きを適切に行うとともに、日頃から区との情報共有に努めたが、月次報告書及び年次報告書の提出において、数値の修正による差替が再度発生した。概ね適正な管理がなされているが、より細やかな対応が必要である。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
19 / 20 点	利用者アンケートでスタッフの対応について高評価だったが、人員配置について社会教育主任の採用に時間を要し、不在の期間が生じたことから、適正な人員確保策が望まれる。事業の運営について、設置条例に基づき、おおむね適切な運営を行っている。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	設備担当が施設の現状を把握し、不具合が生じた箇所については優先順位の高い箇所から修繕する等、計画的な保守管理を実施している。また、清掃等についても適切に実施している。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
18 / 20 点	利用者の要望に適宜適切に対応を行っており、利用者アンケートの結果は概ね良好であるが、より多くの利用者のニーズ把握やアンケート結果の活用にも努める必要がある。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
17 / 20 点	支出は予算どおりだが、利用者収入は予算より上回った。概ね適切な予算執行がなされている。引き続き、利用者収入増加を図る必要がある。
(6) 優れた取組み ＜加点項目＞ ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価 極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (93 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>利用者アンケートでは施設の満足度が平均80点であり、施設の利用率、利用者数ともに増加している。概ね適正な管理運営が行われている。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月次報告書などにおいて数値の修正による差替が発生した。 ・利用者満足度の向上に向けて、利用者アンケートの活用が必要である。